

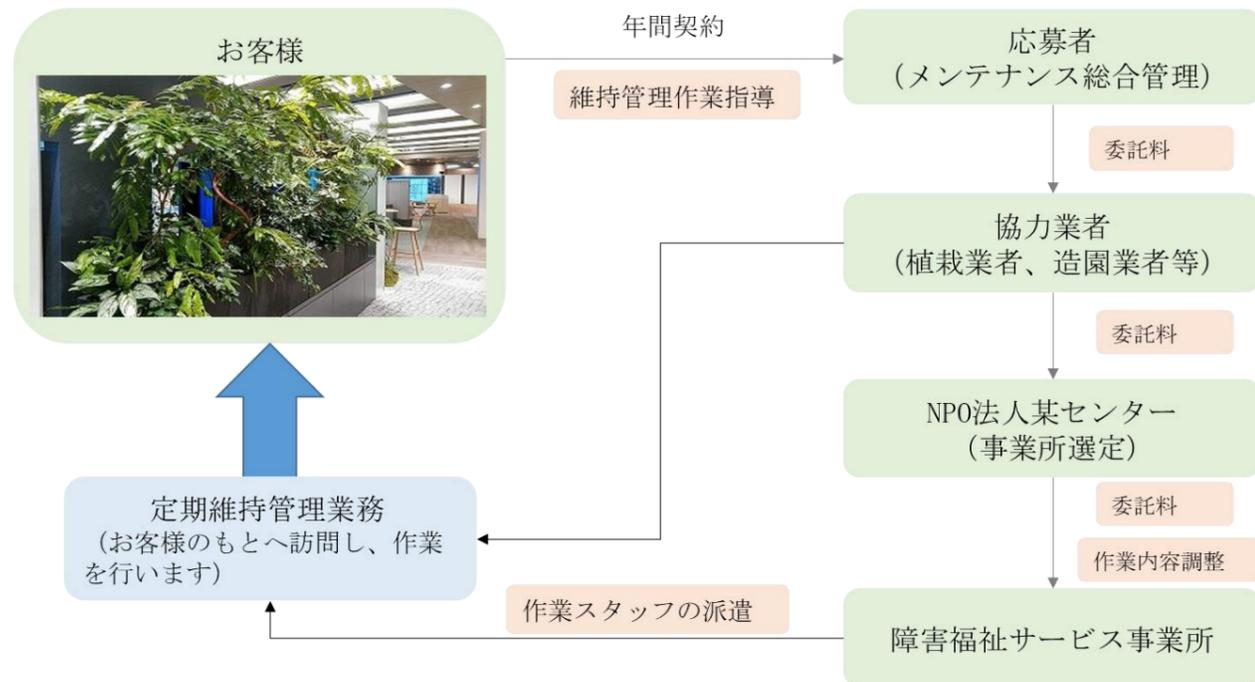
緑の取組部門 公益財団法人日本家庭園芸普及協会会長賞
大和リース株式会社 特定非営利活動法人日本セルプセンター
株式会社プラネット (受付番号 B-6)

(フリガナ)	スローグリーンユニティ
取組名称	SLOW GREEN UNITY ～みどりを介した意識のバリアフリープロジェクト～
所在地	東京都・千代田区
応募施設	1 公共 2 学校 3 病院 4 老健 5 事務所 6 商業 7 集合住宅 8 その他
取組期間	2018年 8月 10日 ～ 現在

○取組の概要 (必須)

当社（応募者）は経営方針として、社会におけるさまざまな問題や課題を共有し、これからの社会が必要とする商品やサービスを創造・提供するという CSV（Creating Shared Value）の考えに基づいた事業展開を掲げています。この方針に基づき、単なる「商品の販売」だけではない、付加価値のある仕組みをつくりたいという思いから、障害福祉サービス事業所と連携し、植栽の維持管理を共同で行う「SLOW GREEN UNITY」を開始しました。障がいの有無を超え、多様な人々が植物の手入れを通じて交流する機会を創出することで、意識のバリアフリー化はもとより、障がい者の方の社会進出や経済的自立の支援につながると考えています。

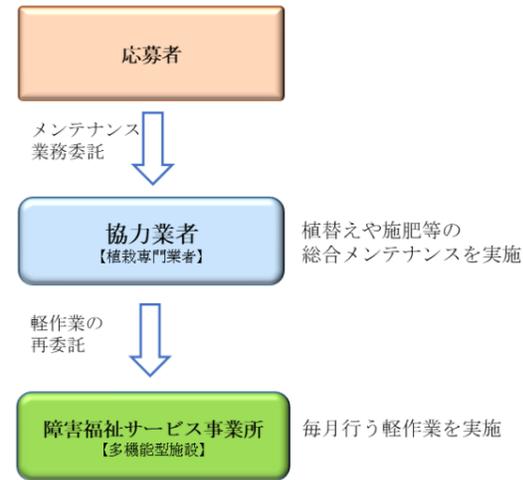
「SLOW GREEN UNITY」は、植栽デザインやメンテナンスを NPO 法人某センターと連携し、障害福祉サービス事業所に発注する取り組みになります。障害福祉サービス事業所の利用者が就労経験を蓄積するとともに、障がい者と健常者が一緒にメンテナンス作業に携わることによる意識のバリアフリー化を目的としたプロジェクトです。当プロジェクトを通じて、①賃金の向上、②施設外の就労経験の蓄積、③障害への意識の壁を取り除くことを目指しています。



【SLOW GREEN UNITY 事業スキーム】

○取組のシステム及び具体的な活動内容 (必須)

当社（応募者）東京本店事務所内に設置している緑化商品のメンテナンスについて SLOW GREEN UNITY を導入しています。障がい者福祉サービス事業所のみでは観葉植物等のメンテナンスを行うことができない為、協力業者（植栽専門業者）に技術指導及び資材提供を依頼しています。当社より協力業者にメンテナンス業務委託を行い、協力業者より障害福祉サービス事業所に軽作業の再委託をする事業スキームとなります。毎月 2 回（2 時間程度）葉先の軽剪定や水やり等の業務を障がいのある方に行って頂いています。



【東京本店における事業スキーム図】



【作業中の写真】

○取組の波及効果 (任意)

企業での雇用が難しく、障害福祉サービス事業所で働いている方々が得られる賃金は月額 16,369 円と非常に低い現状です。当プロジェクトでは賃金の向上を目指しており、維持管理業務を委託することで、賃金の向上につながります。植栽専門業者との間で交通費や諸経費を除いた作業費を最低賃金以上の価格で再委託するように定めており、プロジェクトが波及していくことで障害福祉サービス事業所を取り巻く賃金の問題解決につながると考えております。また、企業の事務所での作業となるため、障害福祉サービス事業所の施設外での就労となります。施設外就労に関しては多くのルールが定められており、実施が難しい現状がありますが、その反面、企業と直接関係を構築できることから、就職先の確保につながること、多様な仕事や働き方の提供ができるようになり、障害福祉サービス事業所にとっても、事業所の利用者にとっても win-win の取組みとなっています。今後は当社が貸し鉢等の契約をしている企業に提案を進めていき、当プロジェクトが世の中に浸透していくように努めていきます。

○その他 (任意)

SLOW GREEN UNITY を企業が導入することで、社員と障がいを持つ方との会話が生まれ、障がいへの理解が深まっていきます。理解が深まることで、『今度〇〇さん誕生日だったよね、誕生日会しようよ』とか、『お昼ご飯食べた？一緒に食べようよ！』、『来週会社の慰労会あるから、おいでよ！』など障がいの認識がなくなる、意識のバリアフリーを目指しています。最終的に、SLOW GREEN UNITY を通じて、この人と一緒に仕事をしたいと思ってもらい、雇用につながり、企業にとっても、雇用される方にとっても良いプロジェクトを目指し、推進していきます。